

日本語学会第 149 回大会 プログラム

会 長 梶 茂樹
大会運営委員長 青木 博史
大会実行委員長 塚本 秀樹

期 日：2014 年 11 月 15 日（土）・16 日（日）

会 場：愛媛大学城北キャンパス（〒790-8577 愛媛県松山市文京町 3）

Tel/Fax: 089-927-9300（大会実行委員長 塚本秀樹 宛）

E-mail: lsj.149th.meeting@gmail.com

※駐車場はありませんので、自動車でのご来場はご遠慮下さい。

※キャンパス内は指定の場所以外での喫煙は禁止されています。

— 第 1 日（11 月 15 日） —

午前中	評議員会 (評議員の方はご出席下さい。詳細は別便の案内をご参照下さい。)	法文学部本館 8 階大会議室
12:00ー	受付	共通教育講義棟 1 階ロビー
13:00ー17:40	口頭発表 (詳細は 2-3 頁にあります。)	共通教育講義棟 3 階, 4 階
18:30ー20:30	懇親会	大和屋本店 (詳細は 5 頁参照)

— 第 2 日（11 月 16 日） —

9:30ー	受付	共通教育講義棟 1 階ロビー
10:00ー12:00	ワークショップ (詳細は 4 頁にあります。)	共通教育講義棟 2 階, 3 階, 4 階
11:30ー12:50	ポスター発表 (詳細は 4 頁にあります。)	共通教育講義棟 3 階
13:00ー13:20	会長挨拶, 開催校挨拶 (柳澤康信 愛媛大学学長), 日本語学会学会賞授賞式	グリーンホール
13:20ー16:20	公開シンポジウム 「現代語研究と歴史的研究の接点」 企画・司会：塚本 秀樹 (愛媛大学) 「準体助詞をめぐる諸問題」 柴谷 方良 (米国ライス大学) [S-1] 「日本語の数詞+助数詞のアクセント」 角道 正佳 (大阪大学名誉教授) [S-2] 「インド・アリア語における場所格の連体修飾」 小林 正人 (東京大学) [S-3] 「韓国語名詞パラダイムにおける類推と語彙再構築」 伊藤 智ゆき (東京外国語大学 AA 研) [S-4]	グリーンホール

公開シンポジウムはどなたでもご参加いただけます。

■口頭発表 (11月15日(土) 13:00-17:40)

	A会場 (講31)	B会場 (講32)
	司会：[1-2] 芝垣 亮介 [3-4] 玉岡 賀津雄 [5-7] 中谷 健太郎	司会：[1-2] 千田 俊太郎 [3-4] 渡辺 己 [5-7] 佐久間 淳一
13:00-13:30	[A-1] 全 敏杞 韓国語の語彙的複合動詞の意味解釈 —LCS の合成とその制約を中心に—	[B-1] 山田 洋平 内モンゴルのモンゴル語諸方言に見られる終助詞=lee について
13:40-14:10	[A-2] 久保田 一充 動名詞と存在文	[B-2] 新田 志穂 現代ウイグル語の接辞- <i>IK</i> について
14:20-14:50	[A-3] 鈴木 孝明 日本語文産出の語順選好に及ぼす競合的要因の検証	[B-3] 木本 幸憲 アルタ語における動詞接辞の分類と記述
15:00-15:30	[A-4] 曾根 雅輝, 広瀬 友紀 名詞複合語連濁生起における、アクセント変化および同一モーラ連続の影響：発話実験による検討	[B-4] 長屋 尚典 タガログ語の重複と反復の形式と意味
15:30-15:50	(休憩)	(休憩)
15:50-16:20	[A-5] KIM Yoan, YANO Masataka, TATEYAMA Yuki, SAKAMOTO Tsutomu Processing of pre-nominal relative clauses in Korean	[B-5] 児倉 徳和 シベ語の動詞接尾辞-mi, -Xeи の機能とツングース諸語における述語人称標示
16:30-17:00	[A-6] 巽 智子, Julian M. Pine 日本語の第一言語獲得早期における動詞屈折とインプット	[B-6] 日高 晋介 ウズベク語の動名詞節における主語の格選択について
17:10-17:40	[A-7] 井原 浩子, 藤田 郁代 日本語失文法者の間接受動文産出に関する一考察	[B-7] 大西 秀幸 ラワン語の2つの形容詞

	C会場 (講34)	D会場 (講35)
	司会：[1-2] 松井 理直 [3-4] 本間 猛 [5-7] 河内 一博	司会：[1-2] 松本 曜 [3-4] 福嶌 教隆 [5-7] 川崎 典子
13:00-13:30	[C-1] 新城 真里奈 ウェールズ英語における平叙文と Yes/No 疑問文イントネーションの基本パターン	[D-1] Paul Julian SANTIAGO Deictic Directionals in Kalanguya, Northern Philippines
13:40-14:10	[C-2] 韓 喜善 日本語を母語とする韓国語学習者の語頭平音・激音・濃音の知覚判断：初級および上級学習者と母語話者の比較から	[D-2] 鄭 若曦 中国語の中間経路表現に関する一考察 —日本語との対照も兼ねて
14:20-14:50	[C-3] 渡部 直也 ロシア語の縮小辞形成にみる生成文法的側面	[D-3] 志波 彩子 日本語とスペイン語の1人称主語受身文 —会話文テキストにおける
15:00-15:30	[C-4] 大西 貞剛 ラテン語における ti 語幹名詞の母音階梯について	[D-4] 金 智賢 仮定条件の仮定性と前提性について —日韓対照研究—
15:30-15:50	(休憩)	(休憩)
15:50-16:20	[C-5] 久保 琢也, 小野 創, 田中 幹大, 小泉 政利, 酒井 弘 カクチケル語 VOS 語順の産出に及ぼすアクセシビリティの効果	[D-5] 南田 政浩, 松岡 和美 日本手話における否定的談話標識としての首ふり表現
16:30-17:00	[C-6] 佐々木 充文 ナワトル語イシュキワカン方言における定性と2種類のコピュラ文	[D-6] 原田 なをみ, 高山 智恵子 日本手話の「違う」：手指表現優位型の否定表現
17:10-17:40	[C-7] 石塚 政行 バスク語の2種類のコピュラ文の類型論的な位置づけ	[D-7] 田中 英理 動詞のスケール構造と二種類の Measure Phrases の分布について

	E会場（講41） 司会：[1-2] 張 麟声 [3-4] 小野寺 典子 [5-7] 佐々木 冠	F会場（講42） 司会：[1-2] 新田 哲夫 [3-4] 五十嵐 陽介 [5-7] 三間 英樹
13:00-13:30	[E-1] ハイス・ファン・デル・ルベ 沖永良部語正名方言における動詞「あるく」の文法化	[F-1] 五十嵐 陽介, 平子 達也 佐賀県北方町周辺方言における3拍5類の対応がアクセントの歴史研究に与える示唆
13:40-14:10	[E-2] 小山内 優子 前期近代朝鮮語における形式名詞 kes の文法化	[F-2] 荒河 翼 西之表方言におけるアルファベット関連語彙のアクセント
14:20-14:50	[E-3] 黒島 規史 現代朝鮮語の補助動詞 'nohta' について —[V1+PUT] 研究—	[F-3] 桑本 裕二, 儀利古 幹雄 鳥取県倉吉方言における地名のアクセント —尾高型アクセントに注目して—
15:00-15:30	[E-4] 古藤 博子 日本語の補助動詞構文「ておく」の意味	[F-4] 儀利古 幹雄, 竹安 大 町名のアクセントの平板化 —東京方言、名古屋方言、倉吉方言の比較—
15:30-15:50	(休憩)	(休憩)
15:50-16:20	[E-5] ルディ・トート 日本語における態の選択 —動詞「支える」のコーパス言語学的ケース・スタディー—	[F-5] 植田 尚樹 モンゴル語複合語のピッチパターン —音韻構造・意味関係との関連性—
16:30-17:00	[E-6] 大槻 知世 青森県津軽方言の接尾辞「サル」	[F-6] 今西 一太 アミ語声門閉鎖音に関する再考察
17:10-17:40	[E-7] 伊藤 雄馬 「秘義化 (esoterogeny)」によるムラブリ語の方言分岐	[F-7] 那須川 訓也, 大沼 仁美, 小泉 政利 フィジー語における挿入母音と固有母音索性

	G会場（講44） 司会：[1-2] 内堀 朝子 [3-4] 小泉 政利 [5-7] 宮本 陽一	H会場（講45） 司会：[1-2] 岸本 秀樹 [3-4] 三宅 知宏 [5-7] 後藤 亘
13:00-13:30	[G-1] Lina BAO, Megumi HASEBE, Umezawa TOSHIRO, Hideki MAKI On the Wh-Island Effect by Native Speakers of Japanese: A VAS-Based Analysis	[H-1] 石原 由貴 日本語の述語繰り返し構文による極性の強調について
13:40-14:10	[G-2] Hideki MAKI, Hasan BASRI The Absolutive/Genitive Alternation in Selayarese	[H-2] 加藤 静華 Plain anaphor としての「お互い」および「自分自身」と束縛原理(A)の循環的解釈
14:20-14:50	[G-3] Dónall P. Ó BAOILL, Hideki MAKI Extraction from the Complement Clause of the Factive Predicate <i>Is Trua Le</i> 'To Regret' in Irish	[H-3] 木戸 康人 Modal Phrase の再検討 —東京方言「だろう」及び「まい」と肥筑方言「めえ」の違い—
15:00-15:30	[G-4] KOBAYASHI Ryoichiro A hybrid analysis for LF-intervention effects: Polarity sensitive items as genuine LF-interveners	[H-4] 宗像 孝 埋め込み節におけるモーダル表現と機能範疇及び主動詞の選択条件の関係について
15:30-15:50	(休憩)	(休憩)
15:50-16:20	[G-5] 発表者の都合により中止	[H-5] 中西 亮太 転送操作の領域拡大およびそれに伴う理論的問題についての一考察
16:30-17:00	[G-6] 矢田部 修一, 谷川 恵 日本語における、述語の語幹で終わるフレーズ同士の等位接続	[H-6] 内芝 慎也 日本語における否定辞移動と短縮応答文
17:10-17:40	[G-7] 林下 淳一 逆スコープ解釈と場面描写	[H-7] 森田 千草 日本語・英語における身体属性表現の統語的・形態的分析

■ワークショップ (11月16日(日) 10:00-12:00)

講24	[W-1] 文のプロソディーと語のプロソディー 企画・司会：窪菌 晴夫
	[W-1-1] 鹿児島方言における文のプロソディーから見た語のアクセント 窪菌 晴夫
	[W-1-2] 南琉球宮古語池間方言の語アクセントの中和と文レベルでの実現 五十嵐 陽介
	[W-1-3] ヘレロ語 (バントゥ R31) における語のプロソディと文レベルの現象 米田 信子
講35	[W-2] 名詞述語研究への新たな話題提示 企画・司会：岩男 考哲
	[W-2-1] メタ用法の叙述の種類での位置づけ 岩男 考哲
	[W-2-2] 出現する位置に着目した「副詞+の+名詞」の研究 建石 始
	[W-2-3] ネットワーク語における <i>-gu kha</i> :文とノダ文 松瀬 育子
講45	[W-3] 北東ユーラシア諸言語における否定構造 企画・司会：長崎 郁
	[W-3-1] サハ語における肯否の対称性と否定を含む派生 江畑 冬生
	[W-3-2] コリマ・ユカギール語における否定と他動性 長崎 郁
	[W-3-3] アリュートル語における肯否の非対称性 永山 ゆかり
	[W-3-4] イテリメン語の否定と法 小野 智香子

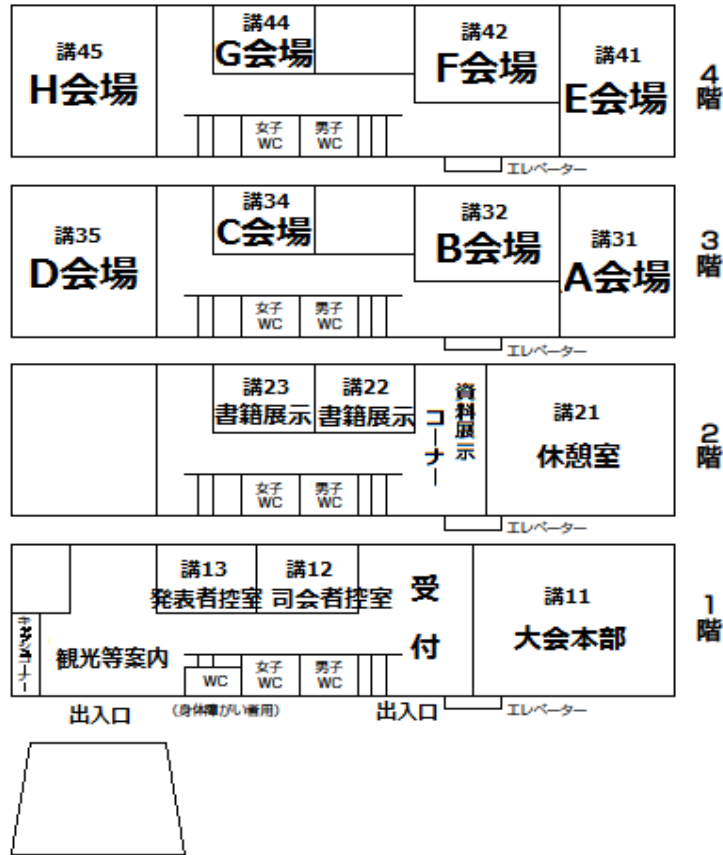
■ポスター発表 (11月16日(日) 11:30-12:50)

講33	[P-1] 海老原 志穂 チベット語東西方言における言語特徴の比較
	[P-2] 矢野 羽衣子, 松岡 和美, 平 英司 愛媛県大島のビレッジサイン (手話方言) における数と時の表現
講34	[P-3] 松倉 昂平 福井平野周辺地域におけるアクセントの周圏分布
	[P-4] 田川 拓海, 松浦 年男 複合動詞の連用形名詞データベースの構築とそれに基づく諸仮説の検証：生産性・語アクセント・意味特徴
	[P-5] 水本 豪, 橋本 幸成, 植原 希, 内田 優希, 古閑 公治 オノマトペを含む教示が嚙下運動に及ぼす影響

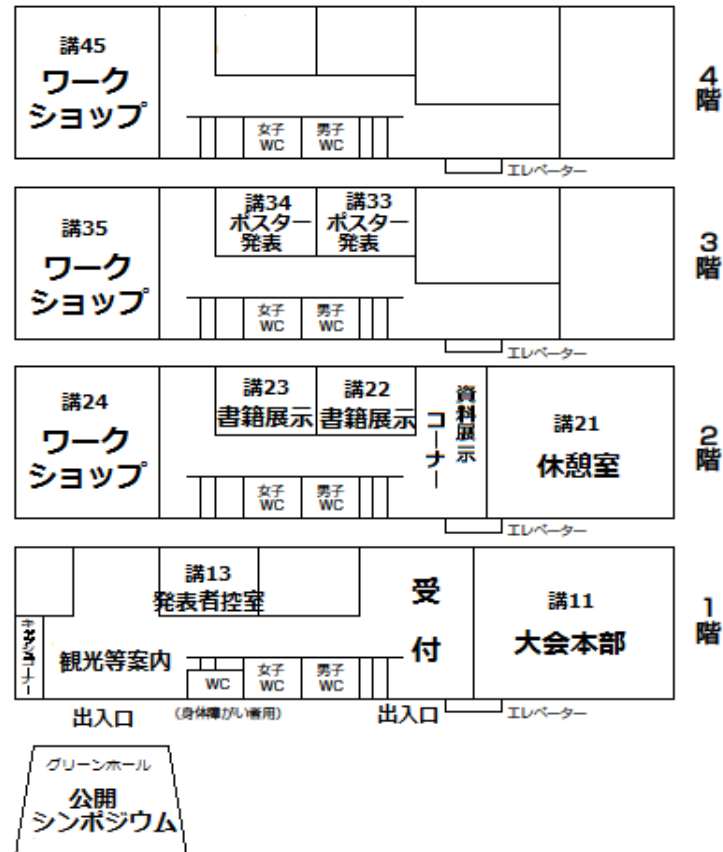
会場配置図

(共通教育講義棟・グリーンホール)

第1日



第2日



お知らせ

◆出張依頼状

所属機関長宛の出張依頼状をご入用の方は、返送先を明記して切手を貼った返信用封筒を同封の上、**10月31日（金）（必着）**までに学会事務支局までお申し込み下さい。

◆大会期間の昼食について

土曜日、日曜日ともに大学会館内のカフェテリア、および愛大ミュージズ内のカフェ（軽食）が営業していますので、ぜひご利用下さい。土曜日は、校友会館内のレストラン「セ・トリアン」の他、売店として、「愛大ショップえみか」、総合研究棟2内の「コスタ」が営業しています。こちらもご利用下さい。

◆懇親会の申し込み

懇親会へ参加ご希望の方は、大会当日に受付でお申し込み下さい。会費は、一般5,000円、学生3,000円を予定しています。

◆大会予稿集の頒布について

予稿集は、大会当日に受付にて大会参加費（2,000円）と引き換えにお渡しします。大会前の予約・購入は受け付けていません。

◆保育室の設置

保育室を設置します。保育室の利用を希望される方は、学会ホームページ「保育室の設置について」をお読みになった上で、**10月27日（月）**までに保育室担当宛にメールでお申し込み下さい。

・利用可能時間：11月15日（土）12:45-17:50、11月16日（日）9:45-16:30

・料金：お子様1人あたり1時間につき500円

◆車椅子の利用について

ご利用希望の方は、**11月7日（金）**までにお申し込み下さい。（申込先：lsj.149th.meeting@gmail.com）

◆手話通訳などについて

手話通訳、ノート・テイクなどをご利用希望の方は、お早めに学会事務支局までご相談下さい。

◆書籍展示

書籍展示は、共通教育講義棟2階、講22・講23教室にて行います。

◆大会予稿集、『言語研究』のバックナンバー

大会予稿集および『言語研究』のバックナンバー購入をご希望の方は、「号、購入部数、送付先」を明記の上、学会事務支局までお申し込み下さい。代金は、送付時に同封される振込用紙にてご送金下さい。

また、今大会の予稿集も、残部がある場合購入していただくことが可能です（送料込みで1部2,500円）。

在庫情報は、学会ホームページをご覧ください。学会事務支局までご連絡下さい。

◆クロークの設置

クロークを設置します。ご利用の方は、当日受付にお申し出下さい。

◆資料展示コーナー

会員相互の情報交換のための資料展示スペースを用意します。会員に紹介したい学会、研究会、講演会のパンフレット等を置くことができますのでご利用下さい。（配布物は当日受付にご持参下さい。）

次回大会予告（2015年春季大会：第150回大会）

場 所：大東文化大学（〒175-8571 東京都板橋区高島平 1-9-1）

日 程：2015年6月20日（土）・21日（日）

会長就任講演、公開シンポジウム、口頭発表、ワークショップ、ポスター発表

研究発表募集：**学会ホームページから発表申し込みができます。**

・発表応募締め切り **2015年3月20日（金）（必着）**

・採否通知 **2015年4月中旬**

問い合わせ先

日本言語学会事務支局 〒602-8048 京都市上京区下立売通小川東入

Tel. (075) 415-3661, Fax. (075) 415-3662, E-mail: lsj@nacos.com